

4510

113

軍極秘

第一遣支艦隊機密第三七號二四

自昭和十七年七月一日
至昭和十七年七月三十一日

九月五日送付

第一遣支艦隊戦時日誌

第一遣支艦隊司令部

8/18

17.9.25
接受

一 概況
(1) 一般情勢

帝國海軍ハ大東亞戰爭開戦以來太平洋方面及印度洋方面ニアル敵艦艇ノ大部分ヲ潰滅シ去リ其ノ根據地ヲ殆ド全部ノ覆滅或ハ占領シ敵ノ積極的行動ヲ封スルト共ニ陸軍ト協力戦果ヲ擴大占領地域ヲ復興建設ニ從事シツツアリ

中支方面ニ於テハ六月ヨリ七月ニ亘リ海陸軍協同下ニ浙贛作戰ヲ實現シ敵輸送路ヲ遮斷スルト共ニ衢州麗水等ノ對日航空基地ヲ占領ニ依リ重慶軍ニ甚大ナル打擊ヲ與ヘタリ

東亞ニ於ケル我戦果ヲ擴大ニ伴ヒ獨伊側ノ意氣益軒昂云々不ト戰線終ニゴークサス戦線ニ大ナル進展ヲ示シ又獨潜水艦ニ依ル通商破壊ハ益々猛威ヲ逞シレ反極軸國ニ對シテ大ナル脅威ヲ與ヘツツアリ

印度ニ於テハ反英獨立氣運ハ漸次熾烈ノ度ヲ加フルニ至リ英ハ印度國民會議派ニ對シテ武力彈壓ヲ開始シ七月下旬ニハ印度反英派首腦部ヲ檢擧シニヨリ反英運動ヲ防止セントシツツアルモ事態ハ刻々惡化ノ路ヲ辿リツツアリ

(2) 敵陣情勢

蘇聯ノ對日動靜ハ表面的依然變化ナシ
重慶側ノ我奇襲攻撃ニ依リ相當甚大ナル打擊ヲ蒙リ各戰區共其ノ活動

稍依調トナリカ如キモ尚反撃ノ兆アルモノ如シ

米國ノ援蔭ハ依然繼續シテリ印度方面ヨリノ入支機相當數ニ上リアルモノ如シ
敵軍ニ般ニ戰意ニ乏シク消極的ナルモ空軍ハ米空軍ノ援助ヲ得テ行動最近
活潑トナリ攻撃目標ヲ主トシテ中支方面海軍艦艇ニ指向スルト共ニ帝國本
土空襲ノ機ヲモ窺ヒツツアルモノ如シ

最近在支米國機ノ出撃ニ依リ我占領地域ニ若干ノ被害ヲ蒙リタルモ我防
空砲火ニ依リ米心ヲ之ヲ撃退シ尚海陸軍機協同ノ下ニ敵空軍據点ヲ空爆
シ重慶政府ヲシテ航空勢力ヲ挽回シ企圖ヲ坐折セシメタリト雖現今支那各地
無線電臺ヨリ航空氣象ヲ放送交換頻繁トナリシ鑑ミ今後ハ相當活潑ナル
出撃アルハキヲ豫想セラル

(一) 任務 編制 配備

(一) 一般任務

- (1) 岳州附近ヨリ下流蕪湖(含ス)ニ至ル揚子江水路確保
 - (2) 同右流域及附近内河運河湖水ニ於ケル敵兵力撃破水路確保
 - (3) 海軍占據地区ノ確保安定
 - (4) 下揚子江流域及附近ニ於ケル敵兵力軍事施設交通線運輸機關軍需
品貯藏所政府機關等ノ攻撃撃破
- (二) 特別任務 (世號作戰關係)

(三)

支那方面艦隊	區分	艦船部隊	特設艦船部隊	特設艦船部隊	所管鎮守府	所屬	官長司令部
第一遣支艦隊							
		宇治、安宅、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、伏見、隅田					
		漢口警備隊					
		九江警備隊					
		漢口在勤海軍武官府					
		第一遣支艦隊軍法會議					
		萬州海軍軍用卸便所					

陸軍支那派遣軍協力揚子江特九江蕪湖間水路警戒確保鄱陽湖水路啓開第九戰區敵牽制

記事	九江方面	下流警戒隊	中流警戒隊	上流警戒隊	警戒隊	漢口方面	主隊	區分兵	(四)揚子江部隊軍隊區分 昭和十七年七月一日現在
	警戒隊	九江方面	下流警戒隊	中流警戒隊	上流警戒隊	警戒隊	漢口方面	主隊	
一、將漢口艦隊司令部部員等移揚中、宇治、主トシテ龍口、 黃石港間ノ區域ノ適宜行動ニ作戦警戒備關シ関係警 戒隊ニ協力スルモノトス 二、滑走艇、欄分子、常用分母、補用トス	九江警備隊	安宅比良二見竹生 特設砲艇七(401 402 404 405 407 414 416) 九警戒遺安慶陸戰隊	伏見、保津、熱海 特設砲艇四(401 412 413 414) 砲艇(漢警所屬小發一)	隅田、勢多、堅田 特設砲艇四(408 409 415 417) 砲艇(漢警所屬中型一小發一)	漢口警備隊 陸上部隊 新編興小鷹膠濟子丸 八號曳船、竹丸 砲艇(中型五艘二艘一) 小發二滑走艇一 長官艇一、舢舨四、火傳馬船一	漢口警備隊	宇治	力指揮官分担區域	
		九江警備隊司令 官湖港(含ハ)ヨリ 湖口(含ハ)ニ至揚 子江本流 鄱陽湖南昌ニ至 ル贛江水路及同 沿岸	安宅艦長 湖口(含ハ)ヨリ 蕪湖(含ハ)ニ至 揚子江本流及 同沿岸	伏見艦長 陽邏(含ハ)ヨリ 官湖港(含ハ)ヨリ ニ至揚子江本 流及同沿岸	隅田艦長 沌口(含ハ)ヨリ 上流城陵磯ニ至ル 揚子江本流、洞庭 湖及同沿岸	漢口警備隊長 武漢海軍警備 區域光口(含ハ) ヨリ陽邏(含ハ) ニ至ル揚子江本流 漢川附近ヨリ下 流漢水及同沿 岸	第遺支艦隊司令長官全	宇治	

114

(五) 軍隊區分ノ變更

(2) (1) 二日 饒州攻畧部隊ノ編制ヲ解キタリ

月日	艦(船)名	新部隊	旧部隊	記事
七三	甲陸戰隊	鄱陽湖部隊	陸戰部隊	饒州攻畧部隊ノ編制ヲ解カレ夫々原隊ニ復版セリ
六	乙陸戰隊砲艇	南昌部隊		
九	山砲隊	漢口警備隊		
二	青根九四水偵一機	青島方面特別根據地隊		
二八	飛鳥	下流警備隊	主隊	

(1) 宇治七日漢口回航ニ伴ヒ飛鳥七號艦水長官艇及測量部隊、附屬隊ヲ鄱陽湖部隊指揮官、指揮下ニ編入セリ

長官艇、測量部隊及附屬隊ハ鄱陽湖部隊ニ編入中、處二十九日主隊ニ復版セリ

(二) 作戰指導

(1) 中央其他ト、連絡指揮官、判断作戰計畫及令達、要旨迄ニ行動

士號作戰以外、海軍徴備船及東亞海運所屬船、如キ無防備商船ニ對スル敵機、空爆アルニ



鑑ミ航行ノ安全ヲ期スル為、砲艦(艇)ヲシテ對空警戒ヲ嚴ニセシメツアリ尚主ナル
徵備船ニ對空射撃兵器ヲ裝備シ保安ニ關シ遺憾ナキヲ期セトス

止號作戰關係

- (1) 鄱陽湖及廣信江水路ノ啓開進撃ヲ完了シ爾後同水路ノ維持確保ニ當リ
鄱陽湖方面作戰ハ極メテ順調ニ進展シ殊ニ饒州作戰ニ於テハ大ナル戰果ヲ
收メ得タリ當方面ハ急激ナル増水ニ伴ヒ各水路共不明瞭トナリシヲ以テ極力
測量部隊ヲシテ水路設標ヲ實施セシメ航路ノ安全ヲ計ラシメタリ
- 二日饒州攻畧部隊編制ヲ解キ原隊ニ復改セシメ爾後九四水偵一機ヲ以テ饒
州附近及樂平ノ軍事施設ヲ爆破スルト共ニ我饒州撤退ヲ探知セシメ第二十一軍
ニ對シ銃爆撃ヲ加ヘ鎮壓セシメタリ
- 附屬部隊ハ陸戰隊協力ノ下ニ饒州作戰ニ於テ押收物資ノ後送ヲ完了セリ
- (2) 在支米國機ハ衡陽、桂林、零陵等ヲ飛行基地トシテ中支方面ヲ占領地域及艦
艇ニ對シ頻繁ニ空襲シ来リ其ノ都度我對空砲火ニ依リ撃退セシメ敵ハ尚
航空機ヲ前記基地ニ相當數集結シ攻撃ノ機ヲ窺ヒツアリ
- (3) 第一第二砲艇隊ハ陸軍ノ徵發物資後送ニ關シ陸軍ニ協力シ後送任務概不
完了セリ
- (4) 陸戰部隊ハ砲艇隊ト緊密ナル連絡ノ下ニ啓開水路附近ノ殘敵ヲ捕捉殺手
滅シ之ヲ確保シツアリ

(一) 鄱陽湖作戰、見透モツキタルニ依ツテ飛鳥ヲ下流部隊ニ復飯センノタリ
 (二) 麾下及友軍ノ行動概要

(一) 麾下

鄱陽湖部隊ハ水路啓開スルニ同方面水路ノ維持確保ニ任ズルト共ニ砲艇
 二日 鄱陽湖方面ニテ測量設標補修ヲ實施シ水路ノ安全

ヲ圖シテ
 鄱陽湖方面ニテ測量設標補修ヲ實施シ水路ノ安全

尚附屬部隊一部ヲテ饒州作戰ニ於テ得タル鹵獲兵器並ニ押收物資ノ
 後送ヲ完了セシメタリ

陸戰部隊ハ砲艇隊協力ニテ都昌方面ノ殘敵掃蕩ヲ實施セリ

航空部隊ハ饒州攻畧部隊ト協同シテ饒州附近ノ殘敵並ニ軍事施設
 大損害ヲ與ヘタリ

尚饒州樂平方面ノ測量寫真撮影及偵察(攻撃)ヲ實施シ十七日指
 令ヲ任務全部ヲ終了セリ

同機ハ二十日揚子江部隊指揮官ノ作戰指揮ヲ解シ同日原隊ニ復飯セリ
 南昌部隊ハ砲艇隊一部ヲ以テ贛江水路ヲ維持確保スルト共ニ主力ヲ以テ東西

河南方水路ヲ啓開端洪ニ進出廣信江トノ連絡ヲ完了セリ

當方面ハ急激ナル増水ヨリ各水路共設標ノ流失甚シク部隊一部以テ
 航路浮標ノ手入並ニ補設ヲ行ヒ航路ノ安全ヲ期シツアリ
 在支米國機ハ二回ニ亘リ南昌ヲ空襲セシモ大ナル被害ナク陸海軍協同下
 ニ撃退セリ
 下流部隊ハ哨區ノ移動警戒レ水路ヲ確保スルト共ニ陸軍ト協力土橋附近
 進出セル敵ニ對シ砲撃ヲ入ル損害ヲ與ヘタリ
 飛鳥ハ二十日下流部隊ニ復敵セリ
 洞庭湖部隊ハ哨區ヲ移動警戒レ水路ヲ確保シツアリ又湄洲方面ニ飛
 来セル在支米國機ヲ砲撃シ撃退セリ
 中流警戒隊ハ哨區ヲ移動警戒レ水路ヲ確保シ艦船ノ航行ノ安全ヲ示タリ
 漢口及九江方面警戒隊ハ哨區ヲ移動警戒シ水路ノ安全ヲ確保スルト共ニ警
 備地區ノ治安ヲ任ジ又敵空襲ニ對シ嚴重ナル警戒ヲ實施セリ兩方面共敵
 機空襲ニ依リ若干ノ被害アリシモ適確ナル射撃砲火ニ依リ常ニ撃退セリ

(2) 敵空襲ニ依ル被害状況

日	機種	数	攻撃目標(地)	被害状況	消耗弾数
一	ノースアメリカン B-25 型機	四機	東京海軍工廠(国丸五週) 東京市運河(国丸五週) 東京市(洲附近)	被害ナシ	伏見 超八機 七五機 七六機 七六機
二	ノースアメリカン B-25 型機	三機	漢口	ナシ	漢口 十二機 七五機 七五機 七五機
三	ノースアメリカン B-25 型機	一機	南昌	死傷者五(中国人三陸軍二)	伏見 超八機 七五機 七五機 七五機
四	爆撃機	一機	石灰窑	ナシ	保津 八機 十三機 二二四
五	爆撃機	三機	石灰窑	ナシ	保津 八機 十三機 二二四
九	カーチス P-40 型機	一機	南昌	軽微	保津 八機 十三機 二二四
一六	戦闘機	二機	糧食配給船(贛江ニテ)	被弾二人員兵器異常ナシ 邦人被弾者一(重傷) 中国人死者十八(重傷四)	重機 五〇
二〇	戦闘機	四機	漢口	邦人被弾者一(重傷) 中国人死者十八(重傷四)	漢口 十二機 七五機 七五機 七五機
二六	機種不明	四機	南昌	陸軍即死者一 中国人死者約六	陸軍應敵二機撃墜
	爆撃機	五機	呉城	ナシ	呉城基地 重機 七〇
	戦闘機	一機	海軍徴傭船(信陽丸)	即死三員(重傷一) 重傷一(後戦傷死)軽傷一 重傷一(中国人軽傷一) 船体三機航路漂流多数アリタルニ行動ニ支障ナシ	呉城基地 重機 七〇

(1) 艦艇遭難状況

日	艦艇(船)名	場所	所記	事
一	軍需部給油船文崎丸	瑞共上流三哩	坐洲一砲艇隊引却ス	

三	三號中型砲艇	木梓灣上流一哩	坐洲砲艇隊引却ス
四	軍需部機附漁船	鯉魚嶺水路下流(哩)	坐洲砲艇離洲センタリ
一七	竹丸	木梓市一哩半下流	坐洲一七號砲艇引却ス
二四	八號曳船	梅溪上流二哩	坐洲、杉丸ヲ離洲センタ

友軍

支那派遣軍ハ世號作戰遂行中ナリ

第十三軍ハ海軍部隊協力ノ下ニ十五日温州ヲ攻畧シ敵密輸路線潜水艦基地施設、破壊ヲ實施シ下旬麗水ニ反轉概不豫定ノ作戰ヲ完了セリ

第十一軍ハ主力ヲ以テ五日敵五丈軍ニ對シ攻撃ヲ開始シ頑強ニ抵抗ヲ排除シテ贛江右岸樟樹鎮ニ向ヒ圧迫ヲ攻撃シ一部ヲ以テ刻樟樹鎮ヲ占領セリ

七日敵第五丈軍主力ヲ擊テ滅後軍ハ集結シ爾後、行動ヲ準備セリ軍ハ十一日新部署ヲ概ニ完成セシメ以テ一部ヲ以テ占領地區ヲ確保スルト共ニ周邊ヲ討伐ヲ實施セリ

高橋兵團ハ十三日浙贛東方ノ第七五師約六百ノ敵ヲ討伐シ又一部ハ步兵一中隊ハ十四日上頓渡ニ接近シ暫編第六師ノ一部ヲ急襲シ潰走セシメタリ

大賀兵團ハ引續同方面ノ敵ヲ掃蕩ヲ實施セリ

井手支隊主力ハ三江口南方大門ヲ領東西高地ノ線ニ出撃セシメ約千ノ敵ヲ攻撃攪乱セシメタリ

大賀兵團ノ長野支隊ハ双港街附近ノ敵第百四七師及第七五師混成部隊ヲ討伐セリ

竹原、今井兩支隊ハ南昌ニ集結軍ノ一部ヲ以テ鹵獲物資ノ後送ヲ實施



中、處概不完了セリ

岳州方面ニ於テ第六師團ハ特ニ對敵行動ヲ見ズ
陸軍航空部隊ハ常時南昌方面ニ在リテ地上部隊ニ協カスルト共ニ敵航空兵
力ニ對シ屢々攻撃ノ偵察ヲ實施セリ

(三) 敵軍ノ實況

世號作戰正面ノ敵ハ一般ニ戰意乏シク何レモ潰滅的打撃ヲ蒙リ敵第五十
八軍ハ反撃ヲ試ミタルモ我軍ノ先制攻撃ニ依リ大ナル損害ヲ蒙リ殘敵ハ筆架
山、山原間ニ潰走シ其後殆ド積極的行動ナシ

敗殘ノ第四、第七十九軍ハ第五十八軍ニ策應方命セラレシモ第七十九軍ノ部
崇仁方面ニ移動セル外兩軍共依然活動低調ナリ

蔣介石ハ揚子江上ノ我艦艇攻撃ヲ企圖シ所在行動等ニ關スル情報ヲ蒐集セシ
メテ之ヲ空軍ニ連絡シアリ

最近在支米國機、跳梁ニ依リ占領地區内都市並ニ軍事施設ニ若干ノ被
害アリシモ我對空砲火ハ克ク之ヲ撃退セリ

敵佈雷隊ノ活動ハ低調ニシテ放流ノ兆候ヲ認ズ
鄱陽湖方面ニ於テモ敷設機雷ヲ殆ド見ズ

(四) 作戰ニ影響セル事項

- (1) 陸海軍ノ連絡極々良好ニシテ協同作戰ハ圓滑ニ實施セラレタリ
- (2) 降雨ノ為メ道路悪シテ陸戰部隊ノ行動ニ礙滞ヲ来セリ
- (3) 急激ナル増水ノ為メ設標流失シ或ハ江岸水面下ニ没シテ水路明確ナラザル為ニ艦艇ノ航行ニ大ナル不便ヲ感ゼタリ 特ニ梅濱ヲ臨汎ニ至ル水路ハ復雜ナル為ニ坐洲セルモノ多シ
- (4) 増水為宿舎浸水セルヲ以テ陸戰部隊ヲ艦艇ニ移乗セルノ止ラキニ至レルコトアリ
- (5) 饒州攻畧作戰ニ於テ増水ノ為ニ艦艇ヲ饒州ニ近接セルルコトヲ得有効適確ナル援護射撃ヲ實施シタリ

水戰備忘ニ政策事項

人員ノ現状

(1) 司令部

(2) 職員官氏名

職	氏名	記	事
司令長官			
主務官			
海軍中將	牧田覺三郎		



CSF 司令部 隊長 命令 服務	同	同	同	同	同	司令 部 附	主 計 長	軍 醫 長	機 關 長	副 官 兼 參 謀	同	同	同	參 謀	同	參 謀 長
	功 績 主 任	廣 務 主 任	暗 號 士	掌 通 信 長						謀 報 防 謀	運 輸 補 給 工 作	全 般 補 佐 宣 傳		全 般 警 備		
海 軍 看 護 長	同	海 軍 主 計 會 長	同	海 軍 兵 曹 長	海 軍 主 計 中 尉	海 軍 醫 大 尉	海 軍 主 計 中 佐	海 軍 醫 大 佐	海 軍 機 關 大 佐	海 軍 少 佐	海 軍 機 關 少 佐	海 軍 少 佐	海 軍 少 佐	海 軍 大 佐	海 軍 少 將	海 軍 少 將
上 原 秀 雄	阿 部 一 男	片 山 淺 敷	釘 崎 政 男	藤 田 勝 春	平 國 端	堤 弘 久	新 井 實	伊 藤 實	高 山 祐 藏	井 上 三 郎	原 田 力	中 野 忠 夫	後 藤 哲 郎	花 田 卓 夫	小 暮 軍 治	一 瀬 信 一
						兼 主 計 長 兼 警 備 隊 主 計 長 兼 不 了 九 警 備 隊 司 令 承 命 服 務	兼 主 計 長 兼 警 備 隊 主 計 長 兼 漢 口 警 備 隊 主 計 長		兼 參 謀 長 兼 海 軍 庫 需 官 兼 漢 口 支 部 長		兼 主 計 長 兼 漢 口 支 部 長	兼 主 計 長 兼 漢 口 支 部 長				兼 主 計 長 兼 漢 口 支 部 長 兼 警 備 隊 主 計 長 兼 不 了 九 警 備 隊 司 令 承 命 服 務

16	15	14	13	12	11	10	9	8
	口	漢					漢 一三一五 三七三〇	黃州 二〇三〇 一四四五
			瑞 洪 一四四五 口五	〇八三〇		康 山 一〇一〇 〇八四五		〇八三〇
								〇八三〇
	楓							楓 港 一〇一五
漢 口 一四〇〇	〇八〇〇		嘉 魚 一〇一〇	〇九〇〇	老 官 廟 一三三〇	〇九〇〇	白 螺 磯 一四一〇	〇九〇〇
漢 口 二〇二〇	二六〇〇	樟 洲 二〇〇〇	〇九〇〇			漢	漢 口 一三三〇	一四〇〇
安 慶 一三三〇	〇九〇〇		彭 沢 一六〇〇	〇八三〇		湖 口 三三〇〇	〇九〇〇	東 流 一三三〇
安 慶 二〇三〇	〇九〇〇		京	南		南 京 一三三〇	〇九〇〇	成 德 洲 一四一〇
	三 江 口 〇九〇〇	〇八五〇	廟 洲 一三三〇	〇九〇〇		梅 塹 〇九〇〇		成 德 洲 〇八〇〇
			南 山 一〇〇〇	〇九〇〇				
上						上 海 一三三〇	〇六三〇	〇八四〇

31		30		29		28		27		26	
	康山 一七〇〇	一四〇〇	大維山 一三二〇	〇七三〇	湖口 一四〇〇	〇八〇〇	安慶 一四一〇	〇八〇〇	九江 一八四〇	〇九〇〇	
瑞洪 一三五〇	瑞洪 一三〇〇	←					洪		瑞		
←											
新堤 一三五〇	一三〇〇		陸溪口 一三二〇	〇九〇〇	←				磯	陵城	
	竹牌洲 一三〇〇	〇九〇〇	←						口	竜	
	太陽洲 一四一〇	〇九一五							安慶 一四五〇	〇八三〇	
彭沃 〇九一〇	〇八三〇		下三洲 一〇〇〇	〇八三〇	湖口 一四〇〇	〇八三〇					
黃港 一八三〇	〇七〇〇	九江 一六〇〇	〇七〇〇	華陽鎮 一九〇〇	〇七〇〇	三徑口 一五三〇			太陽洲 一〇三〇	〇八三〇	
						吳淞 〇七二〇			安慶 一五三〇	〇七〇〇	橋
←											
						康山 一四〇〇	大維山 一八一五				

(イ) 寫真
 世號作戰以外ナシ(世號作戰戰鬥詳報參照)

(ロ) 戰訓
 世號作戰以外ナシ(世號作戰戰鬥詳報參照)

	15	14	13	12	11	10	9
石原 一二三〇 石原 二二〇〇 石原 三二〇〇	八三〇 漢口	蕪春 二二二〇	武大 二二二〇 湖廣 一五五五	〇八三〇 一二〇〇	←	漢口 一八九三	漢口
←					海上		
←					海上		

	31	30	29	28	27	26	25
石原 一二三〇 石原 二二〇〇 石原 三二〇〇	〇八〇〇	蕪春 二二二〇	富池 一五五五	新洲 一三二〇 鄂西 一四〇〇	〇九〇〇 一〇〇〇		三三〇〇 三三〇〇
←							海
←							海

8270

125

第一遣支艦隊機密第三七號一四五

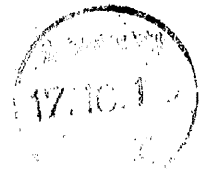
自昭和十七年八月一日
至昭和十七年八月三十一日

十月 九日送付

第一遣支艦隊戦時日誌

第一遣支艦隊司令部

8
18



一級 過
の一般情勢

大東亞戰爭勃發以來既ニ九月ノ經過シ今月頭ニ於ケルソロモン海
 戰ノ快勝ニ皇軍ノ士氣愈々旺盛ナリ
 中支ニ在リテハ五月以來浙贛沿線ニセテ遊作戰遂行中ニテ敵潰滅的
 大打撃ノ與ニ壓倒的勝利ヲ以テ作戰概不完了セリ
 歐洲方面獨蘇戰ハ樞軸側ニ有利展開シテ聯合國側ノ所謂第三
 戰線ニ單ナル呼號ニ過ズ何等具體的進展ヲ見ズ
 蘇聯ノ對日動靜ハ表面的ニ依然變化ナシ
 民族的自覺ニ目醒メタル我占領治下ノ南方諸民族ハ我ニ協力復興建
 設ニ從事シアリ
 印度ニ於ケル反英運動ハ益熾烈ト極メツアリ

敵軍ノ情勢

(一) 北將介石ハ我國ガ對ソ戰ヲ發動セザル場合ハ主力ヲ以テ粵湘地區ニ進
 攻スルモト判斷シ之ガ對策ニ關シ命令シテアリ
 (二) 重慶側ハ全般的ニ戰意ニ乏シク之ヲ昨年ノD作戰當時ニ比シ遙カニ
 低下セリ又裝備劣悪ニシテ逃亡兵續出幹部ノ素質モ低下セリ

而シテ一方六地盤獲得、為國共相剋シ居ル現状ナリ
(三) 月中ハ敵空軍ノ當方面ニ對スル活動一般ニ低調ナリトモ、飛行場、航空
部隊ノ整備スルト共ニ夜間攻撃ノ重視シ之カ訓練ヲ命ジアリ

(一) 任務 編制 配備

二 敵任務

(1) 岳州附近より下流蕪湖(含云)ニ至ル揚子江水路確保

(2) 同右流域及附近内河、運河、湖水於ケル敵兵力撃破水路確保

(3) 海軍占據地区ノ確保安定

(4) 下揚子江流域及附近於ケル敵兵力軍事施設、交通線、運輸機關
軍需品貯藏所、政府機關等ノ攻撃撃破

(二) 特別任務 (廿號作戰)

陸軍支那派遣軍ニ協力揚子江特ニ九江、蕪湖間、水路警戒確保

鄱陽湖水路啓開、第九戰區、敵牽制

八月二十七日以降
一般任務、傍各警備地区於テ陸軍ニ協力廿號作戰續行

(三) 艦隊編制

1810

126(9)

支那方面艦隊		區分	艦船部隊
第一遣支艦隊			
附屬		特設艦船部隊	特設艦船部隊
漢口警備隊 九江警備隊 漢口在動海軍武官府 第一遣支艦隊連長 第一遣支艦隊連長 第一遣支艦隊連長			
吳		所管鎮守府	所屬長官
支那方面艦隊司令長官		第一遣支艦隊司令長官	

別紙第一

揚子江部隊軍隊區分		昭和十七年八月一日現在	
區分	兵	力	指揮官
左隊	宇治	第壹艦隊司令長官	全 敢
漢口方面	漢口警備隊 陸上部隊 新編興小鷹、膠濟、燕子丸 新編興小鷹、膠濟、燕子丸	漢口警備隊司令	武漢海軍警備 區沌口(含山) 陽邏(含山) 至陽邏(含山) 至陽邏(含山) 漢川附近ヨリ下 流、漢水及沿岸
警戒隊	砲艇(中型六艘二小艇二) 滑走艇(二) 長官艇(四)内火傳馬船一		沌口(含山)ヨリ 上流城陵磯三ヨリ 揚子江中流洞庭 湖及沿岸
中流警戒隊	伏見、保津、熱海 特設砲艇四(410 411 412 413) 砲艇漢警所屬小發一	伏見艦長	陽邏(含山)ヨリ 官湖港(含山) 至三山揚子江本 流及沿岸
下流警戒隊	安宅、比良、二見、竹生 特設砲艇七(401 402 403 404 405 406 407) 九警泳遣安慶陸戰隊	安宅艦長	湖口(含山)ヨリ 蕪湖(含山)ヨリ 至揚子江本流及 沿岸
九江方面	九江警備隊 陸上部隊 文星、海州、楓丸、四號、曳船 砲艇(中型五、舢八、機艇五、小艇二) 滑走艇(二) 内火傳馬船二	九江警備隊司令	官湖港(含山)ヨリ 湖口(含山)ヨリ 至揚子江本流 至鄱陽湖南昌ニ至 以贛江水路及同 沿岸
警戒隊			
記事	將旗ヲ艦隊司令部聽命ニ移揚中宇治ハ主トシテ沌口、黄石港、間ノ區域ノ適宜行動ノ作戰警備ニ関シ關係警戒隊ニ協力スルモノトス 滑走艇、欄分子、常用分母ハ補用トス		

128

8810

別紙第二

揚子江部隊軍隊區分

昭和十七年八月二十七日

記 事	警 戒 隊	警 戒 隊	下 流 警 戒 隊	中 流 警 戒 隊	上 流 警 戒 隊	主 隊	區 分 兵 力	指 揮 官 分 担 區 域
<p>一、安宅、將旗ノ艦隊司令部廳舎ニ移揚中主トシテ龍口、黃石港間ノ區域ノ適宜行動ニ作戰警備ニ関シ関係警戒隊ニ協力スルモノトス</p> <p>二、滑走艇、欄分子常用、令母ニ補用トス</p>	<p>九江方面</p> <p>陸上部隊</p> <p>文星、海州、楓丸、錦丸、四流丸、船</p> <p>砲艇(中型五、秋二汽艇九、船二)</p> <p>小發二、滑走艇二</p> <p>内火傳馬船二</p>	<p>漢口方面</p> <p>漢口警備隊</p> <p>陸上部隊</p> <p>小鷹、新鴻興、膠濟、蟻子丸</p> <p>八流丸、船竹丸、揚北</p> <p>砲艇(中型六、秋二、船二)</p> <p>小發二、滑走艇二</p> <p>長官艇一、船四、内火傳馬船一</p>	<p>九警派遣安慶陸戰隊</p> <p>特設砲艇七(404 405 406 407 408 409 410 411)</p> <p>堅田、二見、保津、隅田</p>	<p>伏見、竹生</p> <p>特設砲艇四(412 413 414 415)</p> <p>砲艇(漢警所屬小發一)</p>	<p>北良、勢多、熱海</p> <p>特設砲艇四(404 405 406 407)</p> <p>砲艇(漢警所屬中型一、小發一)</p>	<p>宇治、安宅</p> <p>第遣支艦隊司令長官 全 般</p>	<p>北良艦長</p> <p>伏見艦長</p> <p>堅田艦長</p>	<p>此口(含マズ)ヨリ上流</p> <p>城陵磯ニ至ル揚子江</p> <p>本流河庭湖及同沿岸</p> <p>陽邏(含マズ)ヨリ官</p> <p>湖港(含マズ)ニ至ル</p> <p>揚子江本流及同沿岸</p> <p>湖口(含マズ)ヨリ蕪</p> <p>湖(含マズ)ニ至ル揚</p> <p>子江本流及同沿岸</p> <p>武漢海軍警備區</p> <p>城口(含マズ)ヨリ陽</p> <p>邏(含マズ)ニ至ル揚</p> <p>子江本流漢川附</p> <p>近ヨリ下流漢水</p> <p>及同沿岸</p> <p>官湖港(含マズ)ヨリ湖</p> <p>口(含マズ)ニ至ル揚子</p> <p>江本流</p> <p>鄱陽湖、南昌ニ至ル</p> <p>贛江水路及同沿岸</p>

五軍隊區分變更

揚子江部隊

月日	艦隊名	新警戒隊	旧警戒隊	記	事
六七	保津	下警戒隊	中警戒隊		
	竹生	中警戒隊	下警戒隊		
三比	良	上警戒隊	下警戒隊		
	隅田	下警戒隊	上警戒隊		
二七	別紙第一	通變及更			

(四) 廿號作戰揚子江部隊

三八、二一、新瀨、早瀬、長官艇及七號艇ノ鄱陽湖部隊指揮官ノ作

戰指揮下ニ入ル

三八、二七、早瀬、上根、派遣大發二隻、杉丸及測量艇ニ對シテ作戰指揮ヲ解ク
三八、二七、廿號作戰揚子江部隊軍隊區分ヲ解ク

(三) 作戰指導

(一) 中央其他ト、連絡指揮官ノ判斷作戰計畫及令達ノ要旨ヲ行動

○廿號作戰以外

(二) 九江方面對シテ敵機ノ來襲果次第ニ且ルモノアリ且對空砲火充分ナル

ニ鑑ミ下流終言成隊ニ艦ヲシテ九江對空防禦ニ関シ九江方面警言成隊ニ協力セシム

(2)敵機、跳躍頻繁ナルニ鑑ミ揚子江(岳州—漢口—九江間)ヲ行動スル主ナル給油、給糧船ニ機銃ヲ装備シ上下江際漢警言又ハ九警言ヨリ警言戒兵ヲ乗船セシムルニトセリ

○世號作戦關係

第十一軍ハ十九日ヨリ反轉ヲ開始シ二十日迄ニ廣信江及東西河方面二十四日ハ都昌方面二十五日ハ全部隊概テ撤退完了セルヲ以テ固有警言備兵力ヲ感シ鄱陽湖絲南昌方面海軍兵力ヲ撤退セルヲ二十七日ニ三〇〇世號作戦揚子江部隊軍隊區分ノ解キ自後固有ノ軍隊區分ニ依リ各警言備區毎ニ陸軍ニ協力セシ號作戦ニ續行セシマリ主任警言水路警言戒確保、敵兵力撃破右ニ伴ヒ早瀬上根派遣大發ニ隻、杉丸及測量艇ニ隻ヲ原隊ニ復取セシマリ

(一)麾下及友軍ノ行動概要

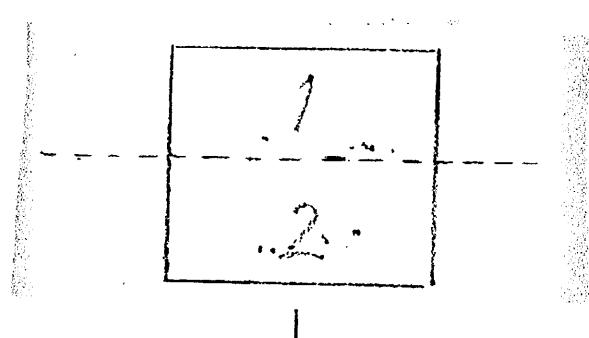
山麻下

鄱陽湖部隊ハ鄱陽湖、廣信江水路ヲ維持確保ニ任クルト共ニ諸婆山、南甯山一帶ヲ掃蕩又ハ曳竹丸ヲ以テ押收圍枝ヲ湖口ニ搬出セリ

又十九日陸軍部隊反轉ヲ開始スルヤ廣信江ヨリスル撤退ヲ支援シタル
 後航路浮標ヲ揚收ニ十五日鄱陽湖ヨリ撤退セリ
 測量部隊ハ右水路ノ航路浮標ノ監視補修ヲ任セリ
 南昌部隊ハ水路ノ維持確保ニ任セラルト共ニ陸戰隊ニテ分隊ヲ吳
 城砲艇基地ニ派遣シ配給船ノ九江、吳城間護衛ニ當ラシメタリ又南昌
 ニ來襲ノ敵機ヲ銃撃撃退セリ
 陸軍部隊ノ東西河ヨリ反轉ノ支援シタル後東西河航路浮標ヲ揚收
 所要ノ砲艇ヲ贛江水路ニ配シ爾余ハ二十五日撤退セリ
 下流部隊ハ哨區ヲ移動哨戒シ水路ヲ確保スルト共ニ土橋或ハ黑砂洲
 方面ニ集結セシ敵ヲ砲撃又ハ掃蕩シ大ナル損害ヲ與ヘタリ又其ノ艦ヲ
 以テ九江ノ防空防禦ニ關シ九江方面警戒隊ニ協力セリ
 洞庭湖部隊ハ哨區ヲ移動警戒シ水路ヲ維持確保セリ
 十一日岳州ニ敵機來襲爆彈ヲ投下セルモ海軍關係被害ナシ
 七號作戦揚子江部隊ハ二十七日一三〇〇其ノ軍隊區分ヲ解キ自後固
 有ノ軍隊區分ニ從ヒ各警戒備區毎ニ七號作戦ニ關シ陸軍ニ協力セリ
 右ニ依リ早瀬上根派遣大發ニ隻、杉丸及測量艇ハ各原隊ニ復返セシメ
 ンレタリ
 漢口及九江方面警戒隊ハ分担哨區ヲ警戒シ水路ヲ確保スルト共ニ陸上

警備區、治安ニ任シ又敵機ヲ来襲ニ對シテハ適確ナル射撃ヲ以テ之
ヲ撃退セリ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
<p>上記のとおり分割撮影したことを 証明する</p> <p>59 年 10 月 20 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 山岸正雄 (印)</p>	

(1) 敵機来襲状況

日	機種、数	攻撃目標地	被害状況	消耗弾数
二	戦斗機二機	漢口	+	漢警十二号六十五号五号五号 小銃一五 竹生、短八、榴霰弾二
十一	機種不明二機	岳州	+	漢警十二号六十五号五号五号 小銃一五 竹生、短八、榴霰弾二
〃	戦斗機六機	南昌	+	南昌部隊重機七〇 軽機六六小銃三四

(2) 艦船遭難状況

日	艦(船)名	場	所	記	事
一	東洋丸	銅陵沙上端		七月二十日坐洲本日二十四日離洲	
二	北洋丸	羊磯		一〇日坐洲二十四日自力離洲	
四	大同	白新山附近		一五五号船二艘之が船鎖、切断江岸ニ船首ヲ	
六	第一砲艦隊	龍津市上流三料		航行中北岸ノ敵ヲ銃砲撃テ受テ反出制圧	
十一	七號艇	猪婆山		暗礁ニ觸レ推進器脱落	
二十三	陸軍海上上三三九	白螺磯		新揚、為接岸中着底減水、為引却困難	
三十一	機帆船大神丸	銅陵沙下端		鉄鎖満載三日坐洲二十一日八日離洲	

(4) 友軍

陸軍部隊ハ廿號作戰遂行中ナリ
 第十一軍ハ貴溪以西臨川、許湾ヲ連スル線以北、占領地域ノ確保
 周邊ノ敵ヲ討伐シ實施スルト共ニ中甸黎城方面ニ侵入セル敵

ヲ捕捉殲滅セリ

十九日反轉開始殆ド敵ノ追尾ノ受クルトナク二十五日迄ニ概ニ撤退完了ニテ六日ヨリ原駐地ニ向ヘリ

各兵團ハ警備地區周邊ノ討伐ノ實施セリ

岳州方面第六師團八十二日正午西半部ノ獨立第十七混成旅團

ト十五日正午東半部ヲ第四十師團ト夫々警備地區交代ヲ完了

武昌地區ニ集結シ上第三師團及第五十八師團ヨリ夫々孝感地區

及武昌地區ノ警備ヲ繼承セリ

(三) 敵軍ノ實況

廿號作戰當面ノ敵ハ今次作戰ニ於テ甚大ナル損害ヲ蒙リ爾後我

カ進攻困難ナル山地帯ニ進入殘存戦力ノ整理ニ努ムアリシガ晝夜ニ我軍

一部兵力ヲ抽出スルヤ全面的反轉ナリト誤斷シ一部ヲ以テ執拗ニ出撃

シ来レルモ悉ク其ノ企圖ヲ挫折セシムラニ再ビ潜伏スルニ至リ我軍反轉ヲ

開始スルモ殆ド追尾スルモノナキ狀況ナリ

第十一軍周邊ノ第五六九戰區ノ敵ハ動向ニ被ニ低調ナリ而シテ我

軍ニ粵湘方面ニ進攻ノ企圖アリトシ之カ對策ヲ準備シアリ

第九戰區ノ敵ハ江南ニ進出セル新四軍ヲ討伐セリ

敵空軍八月ノ通シ當方面ニ三四回出撃シ来レルノミニシテ一般ニ動向
 低調ナリシモ夜間訓練ヲ勵行シアル点ヨリ夜襲ノ企圖アルモノノ如シ
 敵佈置隊ノ動キハ依然低調ナルモ最近贛江及撫河ニ機雷放流ノ企
 圖セルモノノ如シ

(四) 作戰ニ影響セラル事項
 特ニナシ

(六) 戰備ニ政策事項

(一) 戰備

特ニナシ

(二) 政策事項

敵性通貨其ノ旧法幣ヲ排撃シ驅逐シ新國民政府國貨ナル儲備
 券ノ流通地域拡大ヲ為シ武漢三鎮ニ之カ流通ヲ圖ルコトナリ八月
 ニリテ旧法幣攻撃ノ新旧法幣交換開始、旧法幣流通禁止等ノ
 諸施策ヲ實施主トシテ武官府ヲシテ之ニ當ラシメテ全
 面交換ヲ停止シ、武漢三鎮ニ於ケル旧法幣ノ使用及携行ヲ禁止セリ

人員ノ現状
司令部
職員官氏名

職	官	氏名	記
司令長官	海軍中將	牧田覺三郎	
參謀長	海軍少將	小暮軍治	
參謀	海軍大佐	花田卓夫	十日附海軍大學校教官 十九日退任
同	海軍中佐	伊藤清六	七月五日附司令部附 十日附參謀十三日着任
同	海軍少佐	後藤哲郎	
同	同	中野忠夫	八室森釜中 處十六日全治 十九日退任
同	海軍機關少佐	原田力	
副官兼參謀	海軍少佐	牛上三郎	
機關長	海軍機關大佐	鳥山祐藏	兼第海軍軍需部漢口支部長
軍醫長	海軍軍醫大佐	伊藤實	
主計長	海軍主計中佐	新井實	兼第海軍經理部漢口支部長 漢口警備隊主計長
附	海軍軍醫大尉	堤弘久	十日附横濱工廠醫務部部員兼 大津軍區長 十九日退任
同	海軍軍醫中尉	村上康正	十日附漢口司令部服務ノ解 兼漢口司令部服務
同	海軍豫備中尉	小山博夫	十日附司令部附

16	15	14	13	12	11	10	9	8
		漢	州	黃	江	九		山
	山		康		康山	〇九〇〇		洪
	洪	瑞			瑞洪	瑞洪	楓港	
				岳州	白螺磯	嘉魚		
新堤	〇八〇〇	〇九〇〇	〇八三〇			漢口	安慶	
		彭次			東流		象流	
九				九江	〇八〇〇			
新洲	〇八三〇	官湖塔		新洲	〇八三〇	武穴		新洲
星				星子	〇八三〇			山
星				星子	〇八三〇			山
	湖口		梅溪				湖口	梅溪
	新洲漢口		安慶	大通	〇八〇〇	〇八〇〇		新洲漢口
			白湖山	〇九〇〇		〇八〇〇	漢口	陽羅
日湖山	〇八〇〇		石溪	黃州	〇九〇〇	石溪	鄂城	
							海	
					江			九
		子		星			星子	鄂城

25	24	23	22	21	20	19	18	17
子星		山雞大		江九	口			
	九五 江	八三〇 〇八三〇			瑞洪 瑞洪	〇九三〇	康山 二〇〇	南新山 二〇二〇
	九五〇 江	〇八三〇		南新山 二二五〇	瑞洪 一三五〇	〇九三〇		
				城陸磯 一四五〇	瑞洪 一三五〇	〇九三〇		新堤 二四五〇
	新堤 一六三八	一四一五		陸磯口 一六〇七			嘉魚 一六一五	
			九一 一四三	一四〇〇 〇八三〇	彭澤 一〇二九	〇九三〇		湖口 二〇〇〇
	漢口 一四〇〇	〇八〇〇				老規 一〇四〇		
		雞湖 二〇三〇			石渠 〇九三〇	李家洲 一〇四五	武穴 一〇三五	〇八三〇
	九一 江	〇八三〇	墨子				子	
	九一 江	〇八三〇					子	
	九一 江	〇八三〇		山雞大			山	康
豐洲 一六四五	一四〇〇	〇八〇〇			銅陵 一〇〇〇	〇八〇〇		大通 〇九四五
陽羅 一〇八〇	鄧城 一〇四五	〇八〇〇	白洋川 二二三〇	〇九〇〇				
			漢口 一三三四	陽羅 一〇四五	一四三〇			石渠 一四〇〇
彭澤 一〇一五	〇九〇〇	湖口 〇九三〇	九一 江	〇八〇〇	江心洲 二〇三〇	二二三〇	鎮江 〇〇三〇	上沙 〇〇三〇
湖口 一〇四五	九一 江	吳城					九一 江	大觀山 一三五〇
								湖口 一〇二〇
								湖口 一〇二〇

ハ寫真
 廿號作戦以外ナシ(廿號作戦戦闘詳報参照)

(四)戦訓
 廿號作戦以外ナシ(廿號作戦戦闘詳報参照)

31	30	29	28	27	26
口	漢	密灰石		江	九
		漢口 一〇四〇	陽羅 一〇九〇 密羅 〇八〇〇	武穴 一七一〇 官池口 一〇七五 〇七〇〇	一四〇〇 一四〇〇
口	漢	龍口 一〇九〇 〇七〇〇	一八〇〇		一六四一 一五〇〇
	漢口 一三三〇 白鵝洲 一三三〇 白鵝洲 一三三〇	漢口 一四九〇 〇八二五	湖洲 二〇一五 〇八三〇	〇九〇〇	
	漢口 一三三〇 〇八〇〇		黃州 一〇三一	〇八三〇	新洲 一三三五 〇九〇〇
口	漢	洲湖羅	口池富	九江	
口	漢	洲湖羅	口池富	九江	
	大通 一三三〇	〇九〇〇	隆興洲 二二〇〇 麟洲 一〇一五	〇八三〇	漢口 一三〇〇 石炭 一三四五
漢口 一三三〇	〇九〇〇	漢口 一〇〇〇	〇八〇〇	金口 一六〇五 〇八〇〇	漢口 一三〇〇 石炭 一三四五
	漢口 一三三〇	漢口 一〇〇〇	〇九〇〇	東流 一三〇〇	〇九〇〇
		安慶 二二〇〇	〇九〇〇		
				湖口 一六四五	〇六三五

8610

136

軍極秘

第一遣支艦隊機密第三七號二六

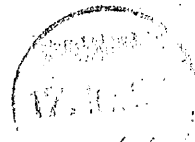
自昭和十七年九月一日
至昭和十七年九月三十日

十月三日送付

第一遣支艦隊戰時日誌

第一遣支艦隊司令部

8
18



一、經過
(一) 一般情勢

世界情勢ハ表面的ニ著ルシキ變動モナク經過セリ
 其ノ間ニ在ツテ帝國海軍潜水艦ノ一部ハ大西洋ニ進出シ樞軸國海軍
 ト協同作戰ヲ開始シ敵側ニ大ナル脅威ヲ與ヘタリ。一方獨逸ハ「スターリ
 ングラード」ニ突入死力ヲ盡シテ之ガ攻略ニ努メツツアリ又「コーカサス」方面ニ
 戰線ヲ展開ス
 印度ニ於テ「バコガンジー」其ノ他國民會議派領袖連々逮捕彈壓モ拘ラ
 ズ反英運動ハ倍熾烈トナリ各所ニ暴動等ノ惹起ヲ見ツツアリ
 支那ニ在リテハ大ナル戰果ヲ收メテ世號作戰ヲ終了シ陸軍部隊ハ概
 ネ原能心勢ニ復歸シ所要ニ應ジ即時出撃ノ準備姿勢ニ在リ

(四) 敵軍ノ情勢

(一) 敵ハ秋季總反攻ヲ計畫準備中ナリレカ兵ノ素質、裝備共ニ低下
 シ戰意乏シキヲ以テ單ナル呼號ニ終ルベシ
 (二) 特務工作戰ハ秋ニ向テ共ニ活潑化スベシト豫想セラル
 贛江撫河方面佈雷隊ハ機雷放流ノ命セラレタルモノノ如キモ未ダ其ノ
 實施ヲ見ズ

(三) 其、他一般敵、動靜低調ナリ
 (四) 敵ハ米英ニ依存シテ引續ク空軍ノ整備擴充ニ努カマツアリ
 九月中ハ當方面ノ出撃ナカリシモ在支機軸ニ印度經由入支軍用機
 相當數ニ上リツツアルヲ以テ機軸ノ窺ツテ出撃シ来ル算大ナリ

(一) 任務、編制、配備

(一) 一般任務

- (1) 岳州附近ヨリ下流燕湖(含マズ)ニ至ル揚子江水路確保
- (2) 同右流域及附近内河運河湖水ニ於ケル敵兵力撃破水路確保
- (3) 海軍占據地區ノ確保安定
- (4) 下揚子江流域及附近於ケル敵兵力軍事施設交通線運輸機關
 軍需品貯藏所政府機關等ノ攻撃

(二) 特別任務

一般任務ノ旁ラ各警備地區ニ於テ陸軍ニ協力セテ戦績續行
 (九月十日終了)

(三) 艦隊編制

支那方面艦隊		區
第一遣支艦隊		分
附屬		艦船部隊
		保定、安宅、勢多、堅田、比良、保津、三見、熱海、伏見、隅田
漢口在勤海軍武官府	九江警備隊	特設艦船部隊
(第一遣支艦隊軍法會議)		
(第六海軍軍用郵便所)		
	吳	特設艦船部隊 所管鎮守府
支那方面艦隊司令官		所屬長官
第一遣支艦隊司令官		

		區分		兵		指揮官		分担區域	
(四)揚子江部隊軍隊區分 昭和十七年九月一日現在									
主隊	宇治、安宅	第遣支隊司令官		全		殿			
上流警戒隊	比良、勢多、熱海 特設砲艇四(404 405 415 416) 砲艇(漢警所屬中型)小發一	比良艦長		沌口(含子)ヨリ上流城陵磯至揚子江本流洞庭及同沿岸					
中流警戒隊	伏見、竹生 特設砲艇四(413 414 417) 砲艇(漢警所屬小發一)	伏見艦長		陽邏(含子)ヨリ官湖港(含子)ニ至ル揚子江本流及同沿岸					
下流警戒隊	特設砲艇七(401 402 407 408 409 410 411) 九警派遣安慶陸戰隊	堅田艦長		湖口(含子)ヨリ蕪湖(含子)ニ至ル揚子江本流及同沿岸					
漢口方面警戒隊	漢口警備隊 陸上部隊 小鷹、新鷗、膠濟 艇子丸、八號、曳船、竹丸、揚北 砲艇(中型)六、秋三、秋二 小發二、滑走艇一 長官艇一、舢舨四、内火傳馬船一	漢警備隊司令		武漢海軍警備區域沌口(含子)ヨリ陽邏(含子)ニ至ル揚子江本流、漢川附近ヨリ下流、漢水及同沿岸					
九江方面警戒隊	九江警備隊 陸上部隊 大星、海州、楓丸、錦丸、四號、曳船 砲艇(中型)五、秋二、汽艇九、秋二 小發二、滑走艇一 内火傳馬船二	九江警備隊司令		官湖港(含子)ヨリ湖口(含子)ニ至ル揚子江本流、鄱陽湖、南昌ニ至ル贛江水路及同沿岸					
記事	一、安宅ハ將旗ノ艦隊司令部廳舎ニ移揚中主トシテ龍口、黄石港間ノ區域ノ適宜行動ノ作戰警備、閉シ關係警戒隊ニ協力スルモノトス 二、滑走艇、欄分子ハ常用分母ト補用トス								

(二) 作戰指導

(一) 中央其ノ他トノ連絡指揮官ノ判断作戰計畫及令達ノ要旨茲ニ行動

○廿號作戰關係

九月十日ヲ以テ作戰ヲ終結セリ

○廿號作戰以外

敵機ノ跳梁ニ鑑ミ漢口九江間特定船舶ニ對シ夜間航行許可ノ件考
慮シタルニ目下ノ敵情並ニ夜航施設ナキ現状於テハ時機尚早ト認メ
許可セズ但シ蕪湖大通間ハ夜航海航路標識整備シ十月一日ヨリ特
殊ノ船舶ニ限リ夜間航行ノ許可セラルコトナレリ

(二) 麾下及友軍ノ行動概要

の麾下

一 般任務遂行ノ旁ラ各警備區毎ニ陸軍ニ協力廿號作戰ヲ續行
十日作戰終結自後固有任務ニ復セリ

○上流警備隊ハ分組哨區ヲ警備戒シ水路ヲ確保シアリ

九月十七日比良配屬ハ四五砲艇ハ仙峯岩警備泊中一〇〇〇名右岸ヨリ射

撃ヲ受ケテ直ニ反撃撃退セリ、艇員一名輕傷

比良ノ現場ヲ急行一四三〇陸戰隊ヲ揚陸、城陵磯東十軒ヨリ白螺

磯對岸ニ亘ル一帯ヲ掃蕩セリ

白螺磯江岸ニ坐洲セル陸軍徵備船滯丸引卸作業、為更ニ八曳
派遣セラレタルモ成功セズ本格的ノ工作ノ施スコトナリ其ノ準備中揚北
及八曳ハ城陵磯ノ橋船ヲ撤去シテ航漢口ニ歸投セリ

城陵磯基地隊ハ十五日白螺磯附近於テA型機雷一個揚收分解
處分セリ

○中下流警戒隊ハ各分担哨區ヲ移動哨戒シ水路ヲ確保セリ

堅田ハ二日、日ニヒ下江中太陽洲下端ニ坐洲安宅及曳船三隻ノ

協力ヲ得テ三十日、二五頃離洲セリ異状ナシ

軍需部機附澳船新方丸八十二日土橋附近上江中一四三〇部落内

ヨリ銃撃ヲ受ケタリ船体被弾十二、其ノ他異状ナシ

○漢口及九江方面警戒隊ハ分担哨區、水路ヲ維持シ警備區ノ治安

ヲ確保セリ

九江警戒備隊ハ二日〇三〇〇ヨリ〇六〇〇迄夜間臨檢ヲ實施セリ夜間

航行ニ伴、他異状ナシ

同三號汽艇ハ二日老爺廟警戒泊中夜間航行戎克ヲ發見逃亡セリ

以テ之ヲ射撃セル處同山中ヨリ敵ノ銃撃ヲ受ケタリ以テ反撃ヲ制圧
セリ。

船舶遭難状況

日	艦(船)名	場所	記
二十	陸軍軍備船 光福丸(九九九号)	貴池中港	十八日坐洲洋津指圖一ト二民間免船及ライシーレ以テ二十日一八〇噸測セメタリ
二十八	軍需部所屬 新方丸	土橋	船体被彈三上江中部被弾内ヨリ銃撃サレ
三十	堅田	太陽洲下端	二十八日三十七夜間航行中坐洲安宅及或船三隻ヲ以テ三十日三十五頃離洲セシタリ異状ナシ

同三號中砲ハ二日一〇二五昌邑街下流ニ里附近下江中敵戰闘機四機ト交戦撃退セリ便乗中ノ陸軍軍人ニ中國人一戰死艇員ニ陸軍ニ中國人四負傷船体外板被彈ニ依ル破孔三十三兩舷排氣管被彈七

右機ハ一三〇吳城ニ未襲、吳城砲艇基地隊ハ直ニ反撃撃退セリ(情報ニ依レバ内一機ハ後刻隊上落セルヲト認メラル)一號汽艇員三負傷各艇若干ノ被彈アルモ戰闘行動ニ差支ナシ

○南昌基地隊ハ二日一七三未襲セル敵戰闘機五機ト交戦之ヲ撃退セリ被害ナシ十四日及二十四日大橋附近ニ於テ(ア)A型(コ)機雷各一個發見爆破處分セリ

(b) 友軍

廿號作戰參加中、陸軍各部隊は月末原駐地ニ復歸、周邊ノ敵ニ對シ積極的討伐ヲ實施スルノ損害ヲ與ヘタリ
又陸軍飛行部隊ハ桂林及衡陽ヲ攻奪シ敵機十機ヲ地上喪破セリ

(三) 敵軍ノ實況

敵軍、動向ハ全般的ニ低調ナリ
第六戰區ハ秋季反攻計畫ヲ具體化スル為日本軍ノ情況特ニ主陣地及渡河点ノ偵察ヲ命ジアリ
第九戰區ハ我軍ノ進攻ヲ危惧シ防禦ノ強化ニ努メタリ、又第七軍ニ鄂南地區共產匪ノ徹底的討伐ヲ命ゼリ
敵ノ游撃行動稍活潑化シ鐵道爆破並ニ自動車運行妨害増加セリ
尚共產軍ノ特務謀畧戰ハ巧妙ニナリアリ
敵空軍ハ南昌九江江西省東部方面ニ出動ノ企圖アルモノノ如クナルモ我空軍攻奪ヲ爲遠ク避退整備中ナリ

(四) 作戰ニ影響セシ事項

特ニナシ

143

職	主務	官	氏名	記
司令長官		海軍中將	牧田覺三郎	
參謀長		海軍少將	小暮軍治	
參謀	全戰警備	海軍中佐	伊藤清六	
同	全戰補佐	海軍少佐	後藤哲郎	
同	情報補佐	海軍少佐	原田力	
同	運輸補佐	海軍少佐		
同	工務補佐	海軍少佐		
副官兼參謀	謀報、防諜	海軍少佐	井上三郎	

人員ノ現状
司令官部
職官氏名

(一) 戰備並ニ政策事項
ナシ

(二) 政策事項
曩武漢地區流通セルタル諸備券ノ流通區域擴大流通促進ノ爲
於ケル旧法幣ノ使用及携行ヲ禁止セリ

8020

145 188

四 麾下總員數

記事 九月一日現在	員數	兵種	兵	科	機關科	看護科	主計科	備	人	計
	四	一	二	一	一	一	一	六	六	〇
(二) 下士官兵其他員數										
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
功績主任	庶務主任	暗號士	掌通信長	海軍主計中尉	海軍兵曹長	海軍主計兵曹長	同	海軍看護兵曹長	同	同
阿部一男	片山淺敷	釘崎政男	藤田勝春	平國 端	村上康正	小山博夫	新井 實	伊藤 實	鳥山祐藏	兼第一海軍軍需部漢口支部長
海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	海軍主計中尉	兼漢口警備隊主計長 第一海軍經理部漢口支部長
臨時要員來組	九月五日附兼漢口警備隊司令官令服務之解									

0209

145

記	員	種
事	數	別
九月一日現在	八〇	土官特准
	八五	下土官
	六六八八	兵
	二七八	其ノ他
	六九八四	合計

四參考

小艦下艦船部隊行動

月名		艦		日		9. 1.		2.		3.		4.		5.		6.		7.	
主	隊	安宅	宇治	比良	勢多	熱海	伏見	竹生	堅田	保津	隅田	二見	小鷹	文星	海州				
	上警隊																		
	中警隊																		
	下警隊																		
漢口	〇八三〇	新堤	〇八三〇	新洲	〇八三〇	漢口	〇八三〇	漢口	〇八三〇	漢口	〇八三〇	漢口	〇八三〇	漢口	〇八三〇	漢口	〇八三〇	漢口	〇八三〇
		上海	〇八〇〇	江陰	〇八〇〇	南京	〇八〇〇	南京	〇八〇〇	南京	〇八〇〇	南京	〇八〇〇	南京	〇八〇〇	南京	〇八〇〇	南京	〇八〇〇
白螺磯	〇九〇〇	大連水道	〇八三〇	張家洲	〇八三〇	漢口	〇九四五	漢口	〇八〇〇	漢口	〇八〇〇	漢口	〇八〇〇	漢口	〇八〇〇	漢口	〇八〇〇	漢口	〇八〇〇
磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯	磯
新洲	〇九〇〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇
新洲	〇九〇〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇	密	〇八三〇
南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇	南	〇八三〇
九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇	九	〇八三〇
黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇	黃州	〇八三〇

	16	15	14	13	12	11	10	9	8
		漢							
					海		上		
	岳州 一一一五	一〇二五	城陵磯 一五〇〇	白螺磯 一三〇〇	新堤 一三三〇	龍口 一七三〇	〇九〇〇		白螺磯 一〇四〇
		上						江南 一八三〇	〇九〇〇
	紫灣 一二〇〇	〇八三〇		龍口 一四一五	〇七三〇	龍口 一三四五	〇九三〇	新灘口 一〇八五	〇八三〇
	漢口 一一一四	〇八三〇	陽羅 一四三一	〇九〇〇		密	灰	石	石炭窟 一三〇〇
	蕪湖 一〇五〇	〇九〇〇	石炭窟 一四二一	〇八三〇		黃州 一一四三	〇八三〇		石炭窟 一〇九五
	池口 二〇〇〇	〇九〇〇	石炭窟 一四二一	〇八三〇		太湖洲 一〇二〇	〇九〇〇		太湖洲 一八二〇
		池口 〇九三五	太子磯 一〇〇五	〇八三〇				安慶 一七一〇	京 一四二〇
	東流 一一〇〇	一〇三〇	官洲 一〇一五	一〇五〇		東流 一〇一五	〇八三〇		安慶 一一一五
			江		九				
	上							江南 一三三〇	〇八三〇
	九					九 一七三〇	〇七〇〇	漢口 〇七〇〇	
									湖口 〇八〇〇

00		29		27		27		26	
東流	一七五〇	大陽洲	一〇三〇	燕湖	一五三五	安慶	一八〇〇	武穴	一六四五
	〇七〇		〇六三〇		〇八〇〇		〇八〇〇		〇九〇〇
		白螺磯	一四二〇					城後磯	一〇四〇
			一三三〇						一〇〇〇
← 海上 →									
煤炭洲	一〇〇〇			大潭山	一〇〇〇			通津	一〇〇〇
	〇九〇〇				〇九〇〇				〇八三〇
武穴	一七四七	武穴	一六四八			石灰寮	一七三三	石灰寮	〇九〇九
	〇八三〇		一四〇〇				〇九〇〇		〇八〇〇
		湖廣洲	〇九三一			台洲山	〇八一六	湖廣洲	〇九一六
			〇八三〇				〇七〇〇		〇六三〇
		大陽洲						大通	一五五〇
			〇九三〇						一五五〇
大通	一三三六	大陽洲	〇九二〇	密保洲	一三三〇				
	〇八三〇		〇七〇〇		〇八三〇				
		東流	一〇七〇					安慶	一三四五
	〇八三〇		〇七〇〇					老鼠籠	一五一九
東北橋	一〇二八								一〇三〇
	〇八三〇								一〇〇〇
← 海上 →									
← 九江 →									
						九江	一七〇〇	安慶	一三三〇
							〇六三〇		〇六三〇